

あんなかの おしごとと通信 Vol.27

安中市で行っている取組や事業を紹介
します。

ひろげよう！ “やわらかいSDGs”



SDGsの実践に向けた行動スキルを学ぶ職員研修会を開催しました。研修会では、SDGsを体験的に理解するためのカードゲーム「SDGs de 地方創生」を使い、持続可能なまちづくりの実現に向けたプロセスをシミュレーションしました。参加者は、市民、事業者、NPO、行政など地域のさまざまなステークホルダー(利害関係者)になって、限られた予算の中で実施すべき事業を話し合い、地域の発展を目指しました。

SDGsを達成するには、SDGsをただ知識として知っているだけではなく、一人一人が「考え」、「行動」していくことが大切です。本市では、今後もSDGsの取組を推進していきます。



問合せ▶ 困秘書政策課政策推進室 (☎内線1015)

安中市消費生活センターからのお知らせ

蒸気が出る家電でのやけどに注意！

【事例1】

寝室にある熱い蒸気が出る加湿器の電源を入れて、ドアを開けていた。子どもが寝室に入ってきて、蒸気の出口に手を突っ込み泣いた。手の指にやけどを負った。(当事者：9か月女児)

【事例2】

炊飯器をキッチンにある高さ60〜70センチの引き出しの上に置いていた。普段はキッチンの柵をしているが開いており、子どもが炊飯器の蒸気口に両手を置き泣いていた。母親が泣き声で気付いたが、やけどを負い24日間入院した。(当事者：1歳2か月男児)



(本文イラスト：黒崎 玄)

【ポイントアドバイス】

★炊飯器、ポット、ケトル、スチーム式の加湿器などの家電から出る蒸気は、蒸気口では100度近い高温になっている場合があります。高温の蒸気は数秒触れただけでやけどを負う恐れがあるため大変危険です。
☆蒸気が出る家電を使う際は、乳幼児の手が届かない位置に置きましよう。

(国民生活センター発行「子どもサポート情報」第175号から作成)
○暖房器具にも注意してください

好奇心旺盛な子どもは、暖かい空気が出たり、赤く灯っていたりする暖房器具に興味を示し、手を伸ばします。特に0〜1歳児の子どもは、「熱い」と感じて、すぐに手を引っ込めることができず、大やけどをする危険があります。

身の回りの製品に危険はないか、もう一度、ご確認をお願いします。

問合せ▼

安中市消費生活センター

(☎382-12228)